

「国語科」学習指導案

日 時 令和3年11月29日(月) 10:40～11:25
場 所 小学部5年2組教室
児 童 小学部5年生(女子3名)
指導者 松岡 咲葵(T1) 金森 大(T2)

1 題材名(単元名)

わかりやすく説明しよう

2 題材(単元)設定の理由

本グループは、知的代替2段階を履修する3名の児童が所属しており、そのうち1名は、国語科のみ3段階を履修している。児童は、人との関わりを好み、言葉やサイン、カードなどの手段でコミュニケーションを図ることができる。また、記憶や注意、空間認知のつまずきといった認知面での異なる特性が見られるが、学習に対しては意欲的であり、繰り返し取り組むことで知識や技能を身につけ、学習や経験を生かして考えたり発揮したりしようとするすることができる。

本単元では、学習指導要領「聞くこと・話すこと」を取り扱う。これまで、国語科では、体験発表会、短い物語や詩の文章の読解、擬音語や動詞などの言葉の学習、仮名や漢字の読み書きに取り組んできた。たくさんの言葉に触れ、様々な表現方法を学んできたが、自分の意見を言う、考えをまとめる、くわしく話すなどの課題では、うまく伝えられずに答えられなくなったり自信をなくしたりすることがある。

本単元では、説明文の読解により、説明の表現方法を学ぶと共に、身近な物や事柄の特徴を多面的な視点で捉え、言葉で伝えていく経験を積み重ねることで、より具体的にわかりやすく考えや思いを伝える力を育てていきたい。今よりさらに、会話する楽しさや相手に伝わる達成感を感じ、思考力・判断力・表現力を働かせながら、体験したことや周りの状況、気持ちなどを的確に伝えられるようになっていくことが、将来の自分らしさの発揮やより自立した生活へとつながっていくと考える。

3 国語科における児童の実態

児童	国語科における実態	学習全般の学びの様子、行動特徴	学びの実態
A	・国語科のみ3段階を履修している。 ・短い文章を読み、内容の大体を捉えることができる。 ・小学校1年生の漢字の読み書きに取り組んでいる。 ・体験したことを「いつ・どこ・だれ・なにをした・きもち」で言い表すことができる。	・聞き取りにくさはあるが、言葉で思いを伝えたり依頼したりすることができる。 ・空間認知の弱さがある。 ・光や回転、体調による発作がある。	特・小2段階 (国語科は3段階)

B	・短い文章から、発問に応じた言葉を抜き出して答えることができる。 ・形を捉えることが難しい字もあるが、ひらがなの読み書きがおおよそできる。 ・自分の気持ちや体験したことを2語文程度で伝えることができる。	・簡単な言葉のやり取りをすることができる。 ・慣れていない表現や状況では自信をなくすことがあるが、繰り返し取り組むことで思いを伝えることができる。 ・筋力の低下が見られる。	特・小2段階
C	・短い文章を読み、内容の大体を捉えることができる。 ・身の回りの漢字を読むことができる。 ・カードやドロップトークなどで、体験したことを伝えることができる。	・指さし、サイン、発声、文字盤、カード等でコミュニケーションをとることができる。 ・先の見通しや周りが気になり、気持ちが不安定になったり注意散漫になったりすることがある。	特・小2段階

4 題材（単元）の目標及び評価規準

単元（題材）のねらい		
段階 観点	知小・国語・2段階	知小・国語・3段階
知識及び技能	遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しむことができる。	出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができる。
思考力、判断力、表現力	体験したことなどについて、伝えたいことを考えることができる。	経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えることができる。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ良さを感じるとともに、言葉でのやりとりを聞いたり伝えようしたりとすることができる。	言葉がもつ良さを感じるとともに、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとするすることができる。
単元（題材）の評価規準		
段階 観点	知小・国語・2段階	知小・国語・3段階
知識及び技能	遊びややり取りを通して、言葉による表現に親しんでいる。	出来事や経験したことを伝え合う体験を通して、いろいろな語句や文の表現に触れることができている。
思考力、判断力、表現力	体験したことなどについて、伝えたいことを考えている。	経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考えている。
学びに向かう力、人間性等	言葉がもつ良さを感じるとともに、言葉でのやりとりを聞いたり伝えようとしていたりしている。	言葉がもつ良さを感じるとともに、思いや考えを伝えたり受け止めたりしようとしている。

5 指導計画

○：指導の重点及び評価の観点

	日 時	おもな指導内容	知技	思判表	学び
1	11月19日 (金)	○説明ってなんだろう？ ・初めて触れる道具を使い、「説明書」の役割に気付く。 ○説明を聞こう ・教師の説明を見聞きして、当てはまる具体物を答えたり、道具を操作したりする。	○		○
2 ～ 4	11月26日 (金) 11月29日 (月) 12月2日 (木) 本時	○みんなで説明しよう ・ある物について説明をするための特徴をみんなで出し合う。 ○説明文を読もう ・説明文を読み、問題に答える。 ○説明を考えよう ・くじで引いたテーマについて、それぞれ説明を考える。 ・考えた説明を友達に出題し、その他の児童は何について説明しているかテーマを答える。	○	○	
5	12月3日 (金)	○「クラスの説明書」をつくろう ・私たちのクラスについて、周りの人に伝わるような説明を考え、説明書としてまとめる。 ・これまでの学習を振り返り、評価する。	○		○

6 本授業における手立て、配慮事項

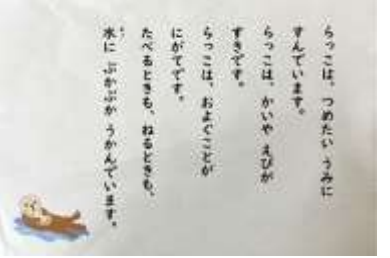
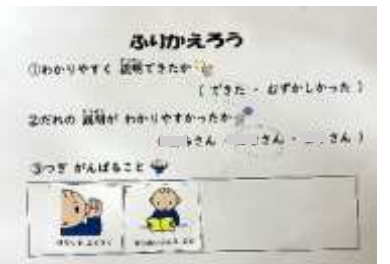
授業作りの5つの視点	内 容
物理的環境支援	・机上の整理、明るさの調整、周りの声や音の軽減を行い、授業に集中できるよう環境整備を図る。
補助的手段	・はじめに学習内容や目標を提示し、授業の見通しを持てるようにする。 ・児童の実態に応じて、文字盤やカード、選択肢を活用し、児童の考えを引き出す。 ・児童が興味を示す教材や題材を取り入れ、それらに注目できるよう提示の仕方を工夫する。
人的支援	・STと児童の実態や指導について共通理解を図る。 ・発達段階に応じた呼称や関わり方、認知面（記憶力や空間認知）の実態に応じた適切な情報の提示を心がける。 ・肯定的な言葉がけにより、学習意欲や達成感を感じられるようにする。
学習機会	・授業の中に小課題をいくつか設定することで、集中力を高められるようにする。 ・友達同士で問題を出し合う場面を設定し、視点を広げたり考えを深められるようにする。 ・実際に説明をする／聞くなど、学んだことを体験する機会を設定する。 ・学んだことをプリントにまとめ、学習の積み重ねを実感したり、生活場面でも活用したりできるようにする。
多様な評価	・振り返りシートを活用した自己評価に取り組み、達成感を感じたり、次の学習に生かせるようにする。 ・お互いの発表について感想を述べあうことで、他者評価をしたり、他者評価を受ける機会を設定する。

7 児童の本時の目標

	目標（○は重点）	観 点		
		知技	思判表	学び
A	説明するものの特徴に気づくとともに、知っている言葉や体験したことと結びつけて、説明文を考えることができる。		○	
B	提示された項目を手がかりに、説明の言葉を考えることができる。		○	
C	文字盤や選択肢を活用して、説明する言葉を考えることができる。		○	

8 授業に際し準備するもの

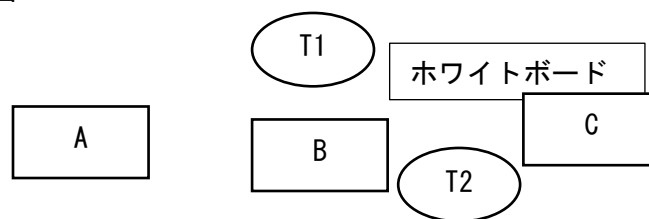
はてなボックス、くじ、掲示物、ホワイトボード、活動予定表、目標カード、説明文、振り返りシート、説明ワークシート

①学習予定 	②「みんなで説明しよう」 	③説明文 
視覚的に学習の見通しを持ったり、学習意欲の向上を図ったりする。	吹き出しの項目ごとにりんごの特徴を捉える。	「なんの説明文か」「好きなもの」「苦手なもの」など内容について発問する。
④くじ 	⑤説明ワークシート（Bさん） 	⑥ふりかえりシート 
食べ物、乗り物、動物のいずれかのテーマおよびイラストが書かれたくじを引く。	テーマについて、3～6つの選択肢の中から当てはまる言葉を選ぶ。	目標を再確認し、自己評価および他者評価をして次回の学習へつなげる。

9 本時の展開

時刻	学習内容・活動	支援の視点と手立て、配慮事項
10:40	1 はじめのあいさつをする。	
	2 本時の学習内容と目標を知る。 わかりやすく せつめいしよう	・学習内容と目標を提示し続けることで、児童が自分で、授業の進行状況や本時の目標を確認できるようにする。 ・A「せつめい」という言葉を辞書で調べるように促す。
10:43	3 みんなで説明しよう ①りんごの特徴について、教師が提示する要素についての意見を出し合う。 ②説明をするためには、いくつかの特徴を捉えることが大事であることに気付く。	・多面的な視点で特徴を捉える発問をする。(色、味、形、など) ・出てきた特徴をまとめると、りんごの説明文になることを説明する。 ・実物のりんごも提示することで、児童がより具体的に説明を考えることができるようにする。
10:48	4 説明文を読もう ①教師のお手本の読みを聞く。 ②文章を句点まで、一人ずつ音読する。 ③プリントに書かれている問題に答える。 ④説明の仕方や伝え方を知る。	・読み飛ばしがないように指でなぞりながら、文章を読むようにする。 ・文章のポイントを理解しやすくなるように、内容に関する発問を行う。
10:55	5 説明を考えよう ①はてなボックスからくじを引き、そこに書かれているテーマについて説明を考え、ワークシートに記入する。 ②ワークシートに記入した説明文を順番に音読しあい、それぞれが何について説明をしているか、答える。 ③②の答え合わせを行う。	・ルール説明を通して、児童が活動の内容を理解したりモチベーションを高められるようにする。 ・くじに使うイラストは、児童が説明を考える際に分かりやすいものを準備する。 ・A イラストや写真を見ることで、特徴を捉えたり、お題に関わるエピソードを想起したりできるようにする。 ・B ワークシートの前後の文章を手掛かりにしたり、選択肢を選んだりして説明を考える。 ・C 説明に使う言葉を考え、文字盤で表したりや選択肢から選んだりする。 ・答え合わせの場面では、友達の説明のどの部分がわかりやすかったか感想を聞く。
11:05	6 振り返り ・振り返りシートを記入し、発表する。	・児童の頑張りを称賛し、達成感や意欲につなげる。
11:10	7 おわりのあいさつをする。	

10 学習配置図



11 本時の評価

(1) 個別目標の本時の評価

	目標（○は重点）	観 点			評価
		知技	思判表	学び	
A	説明するものの特徴に気づくとともに、知っている言葉や体験したと結びつけて、説明文を考えることができたか。		○		
B	提示された項目を手がかりに、説明の言葉を考えることができたか。		○		
C	文字盤や選択肢を活用して、説明する言葉を考えることができたか。		○		

(2) 授業評価

- 題材（単元）目標、本時の目標達成に向けた学習内容であったか。
- 授業の流れや指導形態は適切であったか。
- 学習内容と活動量は適切であったか。
- 教材、教具は効果的であったか。
- 指導や支援の方法は適切であったか。

12 授業改善の視点

本授業のオーダー	採用した改善策（3つまで）
授業で学んだ言葉や表現を、生活場面でも児童が活用できるための手立てや工夫について伺いたい。	・ ・ ・